

2024年1月1日

∩

2024年12月31日

神奈川大学の アジア研究情報

経済学部

横川 和穂 (ヨコガワ カズホ)

[論文]

- ・“Russia Lacks the Financial Resources to Improve Living Standards in the Arctic: A Case of the Sakha Republic”, *Polar Science*, Vol. 41, September 2024.

[学会報告]

- ・“Civic Engagement and Social Capital in Russia and Japan: focusing on voluntary activities”, The 18th Biennial Conference of EACES (European Association for Comparative Economic Studies), The University of Belgrade, Serbia, September 12, 2024.

経営学部

阿部 克彦 (アベ カツヒコ)

[研究ノート]

- ・『『古織紋鑑』に見るモール裂』五島美術館編 特別展図録『古裂賞玩 舶来染織がつむぐ物語』淡交社、2024年、132-137頁

泉水 英計 (センスイ ヒデカズ)

[口頭発表 ほか]

- ・“Medical Service Men and Stationed Public Health Nurses in Postwar Okinawa,” Double 10th Joint Conference of International Association for the Study of Traditional Asian Medicine and Asian Society for History of Medicine, Taipei, 24 June 2024.
- ・“Occupied Japan through British Eyes: Memoirs of the BCOF Servicemen,” Re-Examining Japan’s Cold War (co-convended international conference hosted at University of East Anglia with Ritsumeikan University), Norwich, 14 August 2024.
- ・「与那国島にみる戦後沖縄の僻地医療」『沖縄文化協会 2024年度東京公開研究発表会』明治大学、2024年10月5日

高城 玲 (タカギ リョウ)

[論文]

- ・伊藤利勝、高城玲、菊池陽子、今井昭夫、菅原由美、中野聡 (共著)「第10章 東南アジアにおける「千年王国運動」的民衆反乱の時代」青山亨、伊藤利勝、小松久男、重松伸司、妹尾達彦、成田龍一、古井龍介、三浦徹、村田雄二郎、李成市 編集委員 『アジア人物史 第9巻 激動の国家建設』集英社、2024年、567-625頁

[資料紹介]

- ・「第一次東南アジア稲作民族文化総合調査（1957～58年）に関連する民族学振興会資料について——『趣意書』と『事業実績報告書』」『常民文化研究』第2巻、2024年、95-128頁
- ・「第一次東南アジア稲作民族文化総合調査（1957～58年）に関連する民族学振興会資料について——『調査日程』と『採集品目録』」『常民文化研究』第3巻第1号、2024年、142-186頁

[口頭発表]

- ・「第一次東南アジア稲作民族文化総合調査（1957～58年）へのアプローチ——民博所蔵のタイ写真資料と常民研所蔵の民族学振興会資料から」国立民族学博物館共同研究会『国立民族学博物館の資料収集活動に関する研究——創設後50年のレビュー』国立民族学博物館、2024年2月10日
- ・「映像メディアとコミュニティ——底辺からの鳥瞰という視角」新潟大学合評会「地域映像アーカイブは何を明らかにするのか——『映像メディアの社会文化史』をめぐって」2024年3月23日 新潟大学
- ・“Community as Movement: Assemblages and Media in Thailand” Department Seminar, Department of Political and Social Change, Coral Bell School of Asia Pacific Affairs, The Australian National University (ANU), 5 November 2024, ANU, Australia.
- ・“Rethinking Community: Community Radio in Northern Thailand” 15th International Conference on Thai Studies, 12 July 2024, Burapha University, Thailand.

廣田 律子（ヒロタ リツコ）

[口頭発表]

- ・「中国藍山県「盤王願」に見る歌娘と師父の歌」『国際シンポジウム「ヤオの多面性と統一性」』2024年10月11日
- ・「治病儀式と除災招福活動中の靈魂與疾病——勉瑤與道教、法教的案例比較」『「道教的邊界與邊界的道教」2024 國際學術研討會』2024年11月9日

[その他]

- ・『「大歌書」解説Ⅰ』『瑶族文化研究所通訊』第10号、2024年、34-87頁

国際日本学部

後田多 敦（シイタダ アツシ）

[論文]

- ・「『琉球国印』と「大日本国璽」—印の対比から見えてくる「国家」の姿」『歴史民俗資料学』創刊号、2024年、59-75頁
- ・「『琉仏条約』関連資料とその資料的価値—琉球の国書と「琉球国印」から考える」『琉球独立学研究』6号、2024年、69-93頁

[研究ノート]

- ・「多民族国家・中国の「中華民族」をめぐるとの覚書」『琉球』103号、2024年、66-75頁

[口頭発表]

- ・「『日本』による国家併合としての「琉球処分」」『「東アジア平和発展と琉球学建設」国際学術シンポジウム』中国社会科学院東海問題研究センター、中国社会科学院日本研究所、2024年5月15日

中林 広一（ナカバヤシ ヒロカズ）

[その他]

- ・「遺体は悩む、故郷か異郷か——中華義荘」平山昇編『大学の神奈川ガイド』昭和堂、2024年、151-164頁

・「沖縄そばで考える」『CAS News Letter』22号、2024年、8-9頁

松本 和也 (マツモト カツヤ)

[論文]

- ・「日中戦争開戦後における美術言説分析Ⅰ——川端龍子《朝陽来》・藤田嗣治《千人針》」『神奈川大学アジア・レビュー』11号、2024年、13-28頁
- ・「日中戦争開戦後における美術言説分析Ⅱ——栗原信《小休止十五分》・向井潤吉《突撃》」『人文学研究所報』72号、2024年、1-23頁

建築学部

柏原 沙織 (カシハラ サオリ)

[論文]

- ・ Shishido, S., Terada, T., and Kashihara, S. (2024). "Evaluating the capability of experiences in public open spaces", *Landscape Research*, 1-17, <https://doi.org/10.1080/01426397.2024.2438762>
- ・ Kashihara, S. and Le, Q.C. (2024). "Capturing the transition of historic urban landscapes using scores from Hanoi's ancient quarter", *Journal of Asian Architecture and Building Engineering*, 1-17, DOI: 10.1080/13467581.2024.2422080
- ・ Kashihara, S., Yamaga, K., and Ueno, M. (2024). "Activities of the Neighborhood Association and an Evaluation of the Residential Environment in a Suburban Area of Yokohama", *Urban and Regional Planning Review*, 11, 154-177, DOI: 10.14398/urpr.11.154

[その他]

- ・「ベトナム・ハノイ旧市街 Hang Thiec 通りにおける金属製品製造・販売業の同業者集積空間」『日本建築学会学術講演梗概集（都市計画）』2024年、375-376頁

朱牟田 善治 (シムムタ ヨシハル)

[論文]

- ・ 遠藤尚希、朱牟田善治、高橋健吾「台風被害予測システム（RAMPT）の改良—樹木・土砂災害予測情報を活用した補正の提案—」『電気学会論文誌C』144巻12号、2024年、1238-1246頁
- ・ 朱牟田善治、布施則一、谷純一、ACM センサを用いた腐食環境評価モニタリングシステムの試作と適用、防錆管理 Vol. 68, No. 7, pp. 2-7, 2024年、一般社団法人日本防錆技術協会（招待論文）
- ・ 大原信、須藤仁、服部康夫、朱牟田善治、「日本国内における炭素鋼や亜鉛を対象とする揺れ時間を考慮したドーズレスポンス関数の提案および推定腐食速度マップの作成」『防錆管理』68巻10号、2024年、331-352頁
- ・ Y. Shumuta, Y. Shiba & N. Endo, DEVELOPMENT AND CASE STUDIES OF RISK ASSESSMENT AND MANAGEMENT SYSTEMS FOR POWER LIFELINES (RAMP), WCEE2024 (MILAN, ITALY) (2024)
- ・ N. Fuse, J. Tani, Y. Shumuta, Development of Wireless Salinity Deposition Sensing System using Galvanic Couples, CMD2024, The Korean Institute of Electrical Engineer (2024)
- ・ T. Ochiai, T. Enomoto, Y. Shumuta, N. Ishmael, B. Leonila, DAMAGE EXTEND IN THE 2022 ABRA EARTHQUAKE, PHILIPPINES, AND RESULTS OF DYNAMIC BUILDING CHARACTERISTICS, WCEE2024 (MILAN, ITALY) (2024)
- ・ T. Hanazato, Y. Shirai, T. Ochiai, K. Shimazaki, H. Yamawaki, T. Sato, R. Imai, T. Suzuki, Y. Niitsu, S. Sato and M. Morii, EARTHQUAKE RESISTANCE OF GREAT BUDDHA OF KAMAKURA —A HISTORIC SITTING STATUE CASTED IN 13TH CENTURY—, WCEE2024 (MILAN, ITALY) (2024)
- ・「自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化専門委員会：自然災害時の配電設備における復旧

対応の高度化』『電気共同研究』80巻2号、2024年

[口頭発表 他]

- ・朱牟田善治、落合努「道路橋の振動特性を把握するセンサネットワークシステムの試作と計測」『第14回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム 講演論文集』2024年122-127頁
- ・落合努、朱牟田善治「デジタルファブリケーションを活用した防災活動」『地域安全学会大会梗概集』54号、2024年、7-10頁
- ・王寺秀介、落合努、関口徹、石川敬祐、「地盤情報を活用した気候変動が地盤災害リスクに与える影響の研究委員会の活動報告」『第59回地盤工学研究発表会』DS-1-13、2024年
- ・落合努、花里利一、朱牟田善治「重要文化財法華経寺五重塔の地下構造の推定」『第59回地盤工学研究発表会』DS-1-9、2024年
- ・落合努、朱牟田善治「能登半島地震の建物被害と地盤特性 —七尾市を対象とした検討の速報—」『日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）』21007、2024年
- ・森康太、落合努、朱牟田善治「ボーリングデータと常時微動観測を活用した庄内平野の地盤の三次元地下構造モデル作成の試み」『日本建築学会大会学術講演梗概集（関東）』21036、2024年
- ・落合努、朱牟田善治「2024年能登半島地震を対象とした建物被害予測に関する研究 —SAR画像と地震動強度を用いた研究—」『2024年電気学会電子・情報・システム部門大会』OS3-5、2024年
- ・遠藤尚希、朱牟田善治、加瀬哲嗣、松岡悠「配電設備被害評価のための被害データベース構築：令和6年能登半島地震」『2024年電気学会電子・情報・システム部門大会』OS3-6、2024年
- ・芝良昭、朱牟田善治「スラブ内地震を対象とした配電被害の特徴について、令和6年能登半島地震」『2024年電気学会電子・情報・システム部門大会』OS3-8、2024年
- ・朱牟田善治「電力流通設備の被害と復旧 —2024年能登半島地震での事例検討—」『2024年電気学会電子・情報・システム部門大会』OS3-9、2024年
- ・朱牟田善治、落合努「温度による道路橋の振動特性変化に関する事例検討」『令和6年土木学会全国大会第79回年次学術講演会』CS9-88、2024年
- ・落合努、朱牟田善治「墓石転倒調査による推定加速度と微動観測結果の比較 —仙北平野を加えた検討—」『令和6年土木学会全国大会第79回年次学術講演会』CS9-88、2024年

山家 京子（ヤマガ キョウコ）

[論文]

- ・Saori KASHIHARA, Kyoko YAMAGA, Masaya UENO: Activities of the Neighborhood Association and an Evaluation of the Residential Environment in a Suburban Area of Yokohama, Urban and Regional Planning Review Vol. 11, pp. 154-177, 2024.

